長沼ダム施設概要

梅ヶ沢副堤

洪水調節時の貯水位が周辺の地盤高より高くなるため、貯留水が梅ヶ沢地区に流出するのを防止する。

長沼ダム（主ダム）

長沼ダムの治水・利水・レクリエーション機能を確保する。迫川沿川の洪水調節、流水の正常な機能の維持を目的としたダムで、湖面のレクリエーションとして、漕艇競技コースを確保している。

長沼水門

600m³/sの洪水調節を行い、迫川の余剰水を取り込み利水容量を確保する。平常時最高貯水位(KP 8.7m)、洪水貯留準備水位(KP 8.1m)を維持する。

十五丁排水機場

洪水時には、導水路上流域により生ずる内水を荒川に排除する。

越流堤

迫川の計画高水決定洪水(S22.9)のピーク流量1,700m³/sのうち600m³/sを自然越流により調節する。

滝沢副堤

洪水調節時の貯水位が周辺の地盤高より高くなるため、貯留水が滝沢地区に流出するのを防止する。

フートピア公園

高台にあるオランダ風車がシンボルの公園。全長111mのローラーすべり台やキャンプ場があり、春にはチューリップ畑が色鮮やかな花で埋め尽くされる。

漕艇場

国際A級漕艇競技コース（2,000m×8レーン）として、「長沼レガッタ」などの大会に利用されている。

長沼ダム管理事務所

ダム管理の中枢として、各施設の遠方監視・操作を行う。

導水路

越流堤より自然越流する600m³/sを長沼ダムに導水する。

砂原水門

長沼ダム及び導水路の貯留水を迫川に放流するとともに、渇水期はゲートを開扉して利水容量を確保する。